

環境アニュアルレポート 2021

NECパーソナルコンピュータ株式会社

2020年度（2020年4月～2021年3月）に行った活動を中心にまとめました。
（一部続けて行っていることも含んでいます。）



廃材を利用して製作した“アマビエ”
は4ページをご覧ください

会社の紹介

- 社 名 : NECパーソナルコンピュータ株式会社
- 所 在 地 : 〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目14番1号
(秋葉原UDX)
- 営 業 開 始 : 2011年(平成23年)7月1日
- 代 表 者 : 代表取締役 執行役員社長 デビット・ベネット
- 開 発 生 産 拠 点 : 米沢事業場(山形県米沢市)
- 保守サポート拠点: 群馬事業場(群馬県太田市)
- 事 業 内 容 : 1)パソコンの商品企画・開発・製造
2)パソコンおよび周辺機器の販売・故障診断・修理
3)パソコンのリユース



本社（東京都千代田区）



米沢事業場



群馬事業場

当社の環境負荷（マテリアルバランス）

会社で仕事をするために使っているものと、仕事を通じて出しているもので、環境に影響をあたえるものをまとめました。

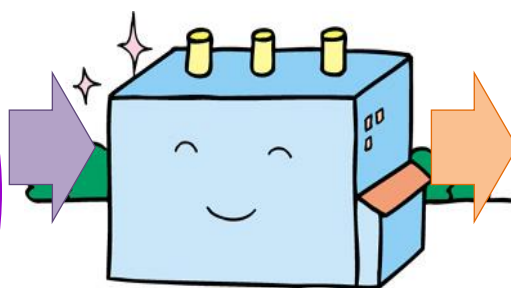
どのようなものがどれくらい環境に影響しているのか調べて、できるだけ影響を減らせるように取り組んでいます。

仕事をするために
主に使っているもの

- 電気 : 6,270Mwh/年
- ガス : 33km³/年
- 重油 : 45KL/年
- 水 : 46km³/年



事業活動



仕事を通じて
主に出しているもの

- CO₂ : 3,368t/年
- ゴミ : 301t/年
(リサイクル)
- 排水 : 39km³/年
- 大気 NO_x量 : 154kg/年
SO_x量 : 31kg/年



<注> 水使用量および排水量の集計対象は
米沢事業場と群馬事業場のみ

当社は2008年7月、パソコン業界初の認定企業となりました。
2017年10月には、会社の改編や環境動向をふまえて、約束内容を更新し、
エコ・ファースト企業として活動を推進しています。



「エコ・ファースト制度」とは

企業が、環境大臣に対して、自らの環境に関する取り組みを約束し、環境省が、環境について「先進的、独自のかつ業界をリードするような事業活動」を行っている企業である、と認定する制度。

「エコ・ファーストの約束」の中で約束した“3つの視点（地球温暖化の防止・循環型社会の形成・従業員の環境意識の向上）”での取り組みにより、地球環境の保全に一丸となって努めました。取り組みの進捗状況を報告します。

エコ・ファーストの約束	評価	2020年度 活動状況
1.地球温暖化の防止に向けた取組を積極的に推進します。		
【製品の省エネ】 2030年までに製品のCO2排出量を2015年度比で35%以上削減	○	30%削減(2015年度比)
【製品の環境配慮設計】 PCエコマーク 100%取得	○	100%取得
【事業場、オフィスにおける省エネ】 2030年度にCO2排出量を2013年度比で30%以上削減	○	41%削減(2013年度比)
【物流エネルギーの削減】 前年比で毎年1%以上削減	○	13%削減 (過去5年度間平均原単位)
2.循環型社会の形成に向けた取組を積極的に推進します。		
【製品のリユース】 リフレッシュPC事業推進	○	パソコン買取キャンペーン実施
【製品の長寿命化(修理回避および修理効率の改善)】 故障原因を調査するプログラムの開発や生産革新活動により修理効率を向上させ、お客さまに早く確実に商品をお返しし、製品の長寿命化を促進し廃棄物の抑制を推進	○	1日修理完了率:91%以上達成
【パソコン回収・リサイクルの推進】 ・121wareにて家庭系パソコンの回収リサイクルおよび買取りに関する情報提供を積極的に実施 ・パソコン3R推進協会等の業界活動に積極的に参画し、家庭系パソコンの回収リサイクルの推進および展示会等による啓発活動を積極的に推進	○	2020年度再資源化率実績(法定目標値) DT :74.5(50%)、NT :65.5(20%) CRT:66.8(55%)、LCD:82.5(55%)
【化学物質管理】 全てのパソコンがJ-Mossグリーンマークに適合	○	100%
3.従業員の環境意識を向上させ、全員参加の環境意識啓発活動を推進します。		
【従業員の環境意識啓発】 環境月間、省エネルギー月間を年2回以上開催	○	環境月間(6月) 省エネ月間(2月)実施
【生物多様性の保全】 森づくり活動を通じて、生物多様性の保全に貢献	○	金山清掃実施(赤松下草刈り)

環境にやさしい製品づくり

省エネ、省資源化など、環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます。

<省エネ設計>

● 第三者機関の省エネ基準を達成

- ・ 省エネ法基準
- ・ 国際エネルギースタープログラム基準 2019年2月1日施行の最新Version7.0に対応
- ・ エコマーク 最新Version3に対応



<事例①> 「ECOボタン」 & 「ECOモード設定ツール」

● 利用シーンに合わせたPCの省エネ運用

シーンに適した省電力設定をあらかじめ登録しておき、状況に応じてPC利用者が簡単に切り替えられる「ECOモード設定ツール」を利用可能。一定時間操作がない時に省電力モードに移行するまでの時間を短縮したり、CPU稼働時の消費電力を削減する仕組みにより、省エネを実現します。



<事例②> 「離席判定」

● 利用者の不在を感知し自動で節電を支援

利用者の不在を感知して自動的にディスプレイ消灯やPCをスリープ状態にします。急な会議などで離席する際でも、利用者が意識することなく電力の浪費を抑え、オフィスの省エネを支援します。



「リフレッシュPC」の取り組み

当社では、2003年から「リフレッシュPC」というサービスを提供しています。リフレッシュPCとは、使わなくなった当社製のパソコンを買い取り、メーカーならではの技術で再生し、新たにメーカー保証を付けて販売するものです。



※新しくパソコンを製造する場合と比較すると、平均ノートパソコン1台につき73kg、デスクトップパソコン1台につき101kgのCO2排出削減に寄与。(NEC調べ)

生産革新活動と連携した省エネルギー活動

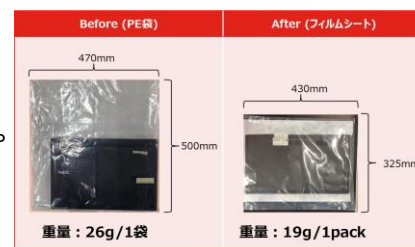
業務プロセスの改善により、生産活動に係わるエネルギーの削減を推進しています。

<事例>

ノートブックPC包装仕様変更による廃棄物削減

ノートブックPC梱包材をPE袋からPCサイズにあわせたフィルムシート*に変更することにより、廃棄物を削減しました。

*自動シュリンクラップ機により、フィルムをPCの大きさに自動でカットし熱溶着。



梱包材重量: 27%削減/台 (26g→19g) -3-

オフィスの省エネルギー活動

各事業場ではきめこまかな節電施策や設備更新により、省エネルギーを推進しています。

設備を高効率タイプにリプレイス



LED照明採用による消費電力の削減



環境に関する教育やイベントなど

様々な意識啓発活動を行い、従業員の環境意識の向上を図っています。2020年度はCOVID-19の影響により、参加型のイベントは実施を取りやめたため、主にWEBや動画を積極的に活用した情報発信を行いました。

環境月間ブログ「Think SDGs Part II」配信



COVID-19の影響でテレワーク勤務が続く状況を考慮し、仕事の合間にほっと一息つけるような話題を織り交ぜながら、SDGsに関する情報をブログ形式で配信しました。SDGsの17項目の目標にちなんで、6月環境月間中に全17回配信。



アルミ缶・ペットボトルキャップの収集で子どもたちに絵本寄贈



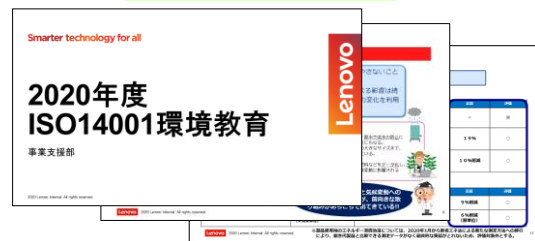
<米沢事業場> <群馬事業場>

「寄贈した絵本」
「もったいないばあさん」シリーズ
環境や生き物などについて考える絵本。
シリーズ累計100万部のベストセラー。

全従業員向け教育

会社周辺クリーン作戦

事業場グリーンカーテン設置



「省エネニュースレター」発行

事業場の廃材でアマビエ製作

金山清掃ボランティア<群馬事業場>



COVID-19の早期終息を願って、各事業場から出る廃材を利用して、疫病よけの効果があるとされている妖怪「アマビエ」を制作、制作の様子を動画で配信しました。



<群馬アマビエ> <米沢アマビエ>



発行/2021年8月
お問合わせ先/事業支援部
TEL: 0276-38-1111